

主役は俺だー 2022年秋②

■本郷維規（ほんごう・いつき） 北海道大 WR 4年

北海道大のエースレシーバーが、あらためて存在感をアピールしたのが今年6月5日の仙台グリーンボウル。北海道大が東北大に公式戦で15年ぶりに勝利した一戦だ。決勝点となる第2QのTDキャッチでMVPに輝いたのが本郷。「QBがスクランブルになったので、空いているゾーンへ走り込んでパスを受けた」と冷静に振り返った。レシーバー歴7年目の経験と勝負強さを見せつけたキャッチだった。

兵庫・市立西宮高でアメフトを始めた。高校時代はTE。「農業と一人暮らしにあこがれて」と北海道大に入学し、1年生からWRを務める。「試合の流れを変えられるプレーができる」のがWRの魅力という。ダウンフィールドでの視野の広さと判断力の良さが持ち味で、グリーンボウルでの殊勲のプレーも能力を存分に発揮した。「FBとWBも出来るユーティリティーさも長所です」と胸を張った。



最終学年となる今季、まずは北海道学生選手権で3年ぶりの優勝が目標。「おとし、去年と北海学園大に負けた。このメンバーで長いことやりたい」と、ライバルへの雪辱を期す。そして、北海道代表として東北代表と対戦する全日本大学選手権1回戦のパインボウル。オープン戦で下した東北大を念頭に「東北大に勝ち、さらにその先に進むのが最終

目標」と力を込めた。

伝統のラン攻撃の中軸となるRB工藤輝一（4年、兵庫・白陵高）とともに、昨年のリーグ・ベストイレブンにも選ばれた。「今年は粘り強く、じりじりと進めるオフェンスをやりたい」と理想のオフェンス像を描き、効果的なパス攻撃の主役を決意する。「ノーペイン・ノーゲイン」（痛みなくして得るものなし）を合言葉に、「1試合に1本以上のTDを取る」と個人目標も付け加えた。

〈プロフィール〉

2001年2月13日、兵庫・西宮市生まれ。農学部応用生命科学科。兵庫・市立西宮高出身。172センチ、82キロ。「好きな選手は、高校の先輩で昨年までXリーグ富士通フロンティアーズで活躍したOL仁川雄太さん。いろいろ教えてもらいました」。